

“くじゅう”でトイレを エコで快適に1年中使いたい

署名活動にご協力を！



◆ネットでも署名をついています◆
署名はインターネットでも受け付けています。下記の当会のブログから署名ページにアクセス出来ます。ぜひア

<http://yamatoiletjpn.blog.jp/>

PCスマフォでの署名はこちらから PCスマフォでの署名はこちらから

■大人気のくじゅう、 来訪者の6割は福岡から！

くじゅう連山は全国・海外よりたくさんの方々を訪れています。また訪れる方々の約6割が福岡県からとなっています。休祝日となれば季節を問わずにぎわい、さらにGWやミヤマキリシマの咲く春、紅葉の時期は行列が出来るほど人々に愛されています。しかし盛況であるがゆえに見逃ごせない問題が起こっています。

■まずは久住分れのトイレ問題から

1・冬季は閉鎖

久住分れのトイレは水道凍結・バイオトイレの不活性で使用できず12月～3月は閉鎖されます。登山者はその場しのぎで周辺で用を足すため、小屋の裏側には小便をした黄色いシミの痕跡、大便によるティッシュや排泄物が散乱、目を背けたくなる状況になっています。冬も使える改善法はないのでしょうか。

2・ハイシーズンの キャパオーバー

ハイシーズンは登山道にはトイレが混雑します。設備のグレードアップ、トイレ増設や携帯トイレ・ブースが出来たらと、切に思います。

3・環境への負荷

前述のように1年中快適にトイレが使えないうえ、登山者が増加、環境に負荷がかかり影響が広がっています。影響を小さくするためのアクションが必要です。

■署名に協力願います！

山のトイレ・環境を考える福岡協議会では、福岡県下からのくじゅう登山者が多い状況を考慮し、福岡から九州全県へと活動を広げていきます。「まずは久住分れのトイレ問題を改善したい！」という意志の署名をいただき、大分県知事あてに請願書を提出したいと思えます。

具体的な解決策は、携帯トイレとトイレブースの設置、使用済み携帯トイレの改修システムの構築や、トイレの増設やグレードアップなどが考えられます。

まずは「なんとかしたい！という人々がこんなにいる！」という思いを集めて大分県知事に提出します。

久住分れのトイレは、水が凍結のため
現在閉鎖中

冬の維持管理に多大な労力が必要なため、従来の協力者を導入しました。

久住分れのトイレは、緊急避難用のトイレです。できるだけ、登山口で廃棄物まとめて持ち帰らう。なお、真水凍結期（12月頃～3月頃）は閉鎖します。

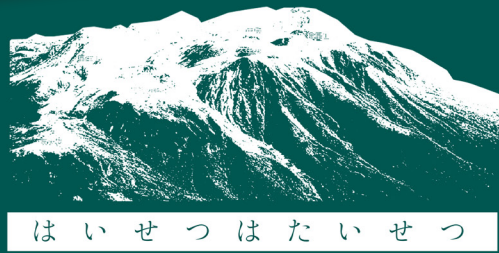
久住山連峰小屋トイレ管理運営協議会
(事務局：大分県別府まちづくり局)



山のトイレ・環境を考える
福岡協議会

<http://yamatoiletjpn.blog.jp/>

私達は



はいせつはたいせつ

ACTION!!

山のトイレ・環境を考える

福岡協議会

です

英彦山



福智山



宝満山



■福岡県を中心に

10年前から活動しています

わたしたちは、福岡県を中心に山のトイレと環境を考え、アクションをおこしてきました。英彦山のトイレ、福智山のトイレ、宝満山のトイレなど、山のトイレの設置・増設・改修・保守のために呼びかけや改善策の提案など、山のトイレ・環境問題に取り組む活動を続けています。

事務局：

太宰府市内山 708 番 九州登山情報センター内

TEL&FAX : 092-928-2729 (水・木は休み)

ブログ : <http://yamatoiletjpn.blog.jp/>

